



新保 峰孝 議員

豪雪対策について

豪雪対策について

質問

今冬の積雪状況とその他の特徴、被害状況及び被害総額、除排雪費用総額について伺う。

また、今冬の豪雪支援にお

いて、災害救助法適用による支援世帯の拡大はどのように行われたか。

市長答弁

今冬の積雪状況については、指定観測所の最大積雪深の平均は、2月18日に2.27mを記録し、昨年より0.6m上回っている。特



渡辺 重雄 議員

市内の環境美化対策について

質問

市内では、市民・自治会・事業者等の協働による美化活動が進められている所も多いが、必ずしも市内全域で美化活動が行われているとは言え

ない状況にある。ジオパーク事業等により交流人口の拡大を図る中、美化活動は来訪者の満足度向上にも大きく寄与するものであり、早急な対応が必要であると考えます。

今後、公共空間などの美化活動を市民が担うアダプト・プログラム制度を導入し、市

徴として、特に山間部において豪雪となり、昼夜を問わず長期間降り続いたこと等が挙げられる。

被害状況については、死者及び重軽傷者が13名、住家・倉庫等の被害が24棟のほか、ビニールハウスや農業用機械などが15件、また、林道橋立上路線の橋りょう被害など市の施設にも多くの被害が発生した。

被害額については、災害査定等が今後行われることから確定していない。

除排雪費用については、平成24年度予算で対応した春先除雪も含め、総額約9億6千7

民と行政が一体となった地域活動を市内全域に展開していく必要があると考えるが、このような観点から次の点について伺う。

- ・ 公共施設や道路、河川、空き地等の公共空間の管理状況、課題について
- ・ 空き家の実状や、条例制定について
- ・ 環境美化に対する市民意識の醸成や、条例について
- ・ アダプト・プログラム制度導入について

市長答弁

公共施設、公共空間に関し

百万円である。

災害救助法適用による支援世帯の拡大については、収入要件や扶養要件の緩和により、対象世帯は425世帯から485世帯に増えている。

介護保険及び

介護施策の充実について

質問

介護認定者数の推移及び介護が必要になった主な原因に対する対応について伺う。

また、2割となっている国の負担率の引き上げを求めていくべきではないか。

寄せられた苦情については、その都度対応している。市の施設は担当部署においてパトロール等を実施し、適正に管理しているが、広大な市域を管理するためには、市民や各種団体などによる地域の環境美化への協力も不可欠であり、意識の高揚が課題である。

空き家調査については平成22年度に実施し、その総数は1236軒である。対策については、空き家条例の制定も視野に検討していきたい。

環境美化に対する意識の醸成について、当市の環境美化推進条例では、市民の皆さんの役

市長答弁

介護認定者数は、平成18年は3096人、平成23年は3082人である。日頃からの健康づくりと介護予防が重要であり、運動教室や介護予防の各種事業を実施しているところである。

国庫負担の引き上げについては、安定的な介護保険制度を運営するため、市長会を通じ国庫負担金の増額を要望している。

割として、地域の生活環境の保全と美化に努めることとしており、定期的な環境美化活動の実施などから、その効果が現れているものと考えている。

アダプト・プログラムについては、市民や各種団体、企業などから公共空間の環境美化活動に取り組んでいただいているところであり、それらの方々を含め制度化を検討していきたい。

